



2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 森永製菓株式会社

コード番号 2201

URL <https://www.morinaga.co.jp>

代表者(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 太田 栄二郎

問合せ先責任者(役職名) 執行役員 コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 国近 文子 (TEL) 03-3456-0150

四半期報告書提出予定日 2021年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	93,422	10.0	13,188	14.2	13,700	14.4	9,544	14.7
2021年3月期第2四半期	84,937	—	11,548	—	11,979	—	8,320	—

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 14,653百万円(9.0%) 2021年3月期第2四半期 13,438百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	189.75	—
2021年3月期第2四半期	165.42	—

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2021年3月期第2四半期に係る各数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。これにより、2021年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	216,692	134,198	61.5
2021年3月期	202,910	123,706	60.5

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 133,194百万円 2021年3月期 122,791百万円

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2021年3月期に係る各数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	80.00	80.00
2022年3月期	—	0.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	80.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	179,200	6.5	18,000	△6.1	18,500	△6.5	12,800	△4.6	254.48

(注) 1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2 2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しており、対前期増減率については、2021年3月期に当該会計基準等を適用したと仮定して算定した増減率を記載しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期2Q	54,189,769株	2021年3月期	54,189,769株
② 期末自己株式数	2022年3月期2Q	3,893,031株	2021年3月期	3,891,130株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期2Q	50,297,670株	2021年3月期2Q	50,300,683株

※期末自己株式数には、役員報酬BIP信託が保有する当社株式(2022年3月期2Q 38,764株、2021年3月期24,564株)が含まれております。また、役員報酬BIP信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、適正な情報に基づき作成したものでありますが、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。詳細は添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11

※参考資料 2022年3月期 第2四半期決算短信補足資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前年同四半期連結累計期間及び前連結会計年度との比較・分析を行っております。

(1) 経営成績に関する説明

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の拡大により様々な経済活動への制約が続く中、ワクチン接種の普及もあり人流が増加傾向で推移するなど、経済活動が徐々に正常化に動き出す向きもありましたが、緊急事態宣言の発出と解除が繰り返されるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、全体では934億2千2百万円と前年同期実績に比べ84億8千5百万円（10.0%）の増収となりました。

損益は、売上高の増収により、営業利益は前年同期実績に比べ16億4千万円（14.2%）増益の131億8千8百万円、経常利益も前年同期実績に比べ17億2千1百万円（14.4%）増益の137億円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期実績に比べ12億2千4百万円（14.7%）増益の95億4千4百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

<食料品製造事業>

菓子食品部門

国内主力ブランドでは、「森永ビスケット」が定番品に加え、季節限定品も好調に推移しました。「ハイチュウ」は前年同期実績並みとなりました。「森永ラムネ」「カレ・ド・ショコラ」は新商品が好調に推移しました。「チョコボール」は前年の大幅な売上減少の反動もあり前年同期実績を上回りました。「ダース」「森永甘酒」「森永ココア」は前年同期実績を下回りましたが、主力ブランド全体では前年同期実績を上回りました。その他のブランドでは、「森永ホットケーキミックス」は巣ごもり需要が落ち着いたこともあり、前年同期実績を下回りました。これらの結果、国内全体では前年同期実績を上回りました。

海外では、ワクチン接種の普及などで経済活動の正常化がみられたこともあり、米国、中国は前年同期実績を大きく上回りました。台湾では今年発売30周年を迎えた「ミルクキャラメル」が好調に推移したこともあり、海外全体では前年同期実績を大きく上回りました。

これらの結果、菓子食品部門全体の売上高は432億1千7百万円と前年同期実績に比べ26億5千6百万円（6.5%）増となりました。

損益は、海外が好調に推移したことで、営業利益は前年同期実績に比べ4億7千9百万円（19.6%）増益の29億2千5百万円となりました。

冷菓部門

主力ブランドの「ジャンボ」グループ、「アイスボックス」は、積極的なプロモーションを展開しましたが前年の大幅な売上拡大の反動もあり前年同期実績を下回りました。その他のブランドでは、コンテンツとのコラボレーションを展開した効果もあり「板チョコアイス」「パキシエル」が前年同期実績を大きく上回りました。

これらの結果、冷菓部門全体の売上高は255億8千9百万円と前年同期実績に比べ10億9千4百万円（4.5%）増となりました。

損益は、原価改善、販売費及び一般管理費の抑制等、コスト削減に取り組んでまいりましたが、営業利益は前年同期実績に比べ8億1千7百万円（14.4%）減益の48億5千7百万円となりました。

健康部門

主力ブランドの「i nゼリー」は、前年の大幅な売上減少の反動に加え、自宅トレーニングにおける栄養補給といった飲用シーンの提案、フルーツ食感などの新たなニーズに対応した新商品の展開もあり、前年同期実績を大きく上回りました。「i nバー」は、手軽なタンパク質の摂取ニーズを訴求するとともに、在宅ワークにおける間食需要も取り込んだことで前年同期実績を大きく上回りました。

通販事業は、積極的なプロモーションの展開によって「おいしいコラーゲンドリンク」が好調に推移し、通販事業全体としても好調に推移しました。

これらの結果、健康部門全体の売上高は209億8百万円と前年同期実績に比べ43億3千1百万円(26.1%)増となりました。

損益は、主要なブランドが好調に推移したことにより、営業利益は前年同期実績に比べ19億1千7百万円(56.6%)増益の53億7百万円となりました。

[主な商品の前年同期比 (単位：%)]

菓子食品部門		冷凍部門	
森永ビスケット	115	ジャンボグループ	92
ハイチュウ	100	アイスボックス	91
森永ラムネ	110	健康部門	
カレ・ド・ショコラ	107	i nゼリー	127
ダース	80	i nバー	121
チョコボール	102	おいしいコラーゲンドリンク	118
森永甘酒	80		
森永ココア	94		
菓子食品主力品計	101		

※表内の数値は国内販売実績にて算出

これらの結果、＜食料品製造事業＞の売上高は897億1千5百万円と前年同期実績に比べ9.9%増となりました。セグメント利益は130億9千1百万円と前年同期実績に比べ15億7千9百万円の増益となりました。

＜食料卸売事業＞

売上高は、24億3千8百万円と前年同期実績に比べ13.1%増となりました。セグメント利益は6千7百万円と前年同期実績に比べ6千万円の増益となりました。

＜不動産及びサービス事業＞

売上高は、9億5千2百万円と前年同期実績に比べ9.5%増となりました。セグメント利益は4億4千万円と前年同期実績に比べ8千5百万円の増益となりました。

＜その他＞

売上高3億1千5百万円、セグメント利益9千8百万円であります。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産の残高は2,166億9千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ137億8千2百万円増加しております。主な要因は、受取手形及び売掛金や機械装置及び運搬具（純額）、投資有価証券が増加したことなどによるものであります。

負債の残高は824億9千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ32億9千1百万円増加しております。主な要因は、流動負債のその他に含まれる設備関係未払金が減少した一方で、支払手形及び買掛金や未払法人税等、繰延税金負債が増加したことなどによるものであります。

純資産の残高は1,341億9千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ104億9千2百万円増加しております。主な要因は、利益剰余金やその他有価証券評価差額金が増加したことなどによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末より1.0ポイント増加し、61.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、健康部門の売上が予想を上回ったこと等により各段階利益も増益となり、前回発表予想を上回りました。

2022年3月期通期連結業績予想数値につきましては、当第2四半期連結累計期間における業績を踏まえ、以下のとおり修正いたします。

なお、当該予想数値の修正に関する事項は、本日（2021年11月10日）公表いたしました「2022年3月期第2四半期連結累計期間業績予想数値と実績値との差異及び通期連結業績予想数値の修正に関するお知らせ」にも記載しております。

2022年3月期 通期 連結業績予想数値の修正

(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	175,000	17,000	17,400	11,700
今回修正予想(B)	179,200	18,000	18,500	12,800
増減額(B-A)	4,200	1,000	1,100	1,100
増減率(%)	2.4	5.9	6.3	9.4
(参考)前期連結実績 (2021年3月期)	168,240	19,176	19,782	13,416

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2021年3月期連結実績に係る各数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,568	33,743
受取手形及び売掛金	19,934	23,410
商品及び製品	11,430	11,732
仕掛品	319	447
原材料及び貯蔵品	7,962	9,348
未収還付法人税等	795	—
その他	6,078	5,447
貸倒引当金	△43	△40
流動資産合計	78,045	84,089
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	25,773	25,743
機械装置及び運搬具(純額)	23,579	26,051
土地	21,589	21,642
その他(純額)	11,488	10,339
有形固定資産合計	82,431	83,775
無形固定資産		
のれん	196	147
その他	231	220
無形固定資産合計	427	367
投資その他の資産		
投資有価証券	35,583	42,005
退職給付に係る資産	4,548	4,541
繰延税金資産	831	836
その他	1,080	1,113
貸倒引当金	△37	△36
投資その他の資産合計	42,006	48,460
固定資産合計	124,865	132,603
資産合計	202,910	216,692

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,162	21,194
未払金	9,847	8,658
未払法人税等	1,357	4,593
賞与引当金	2,595	2,597
資産除去債務	—	92
その他	17,619	14,328
流動負債合計	49,583	51,465
固定負債		
長期借入金	10,000	10,000
繰延税金負債	6,852	8,177
役員株式給付引当金	57	70
環境対策引当金	279	279
退職給付に係る負債	7,767	7,926
資産除去債務	262	169
受入敷金保証金	3,706	3,666
その他	694	737
固定負債合計	29,620	31,028
負債合計	79,203	82,494
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,612	18,612
資本剰余金	17,281	17,292
利益剰余金	74,139	79,657
自己株式	△11,291	△11,309
株主資本合計	98,742	104,253
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,729	25,245
繰延ヘッジ損益	23	6
為替換算調整勘定	493	976
退職給付に係る調整累計額	2,803	2,713
その他の包括利益累計額合計	24,049	28,941
非支配株主持分	915	1,003
純資産合計	123,706	134,198
負債純資産合計	202,910	216,692

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
売上高	84,937	93,422
売上原価	47,069	52,403
売上総利益	37,868	41,018
販売費及び一般管理費	26,319	27,830
営業利益	11,548	13,188
営業外収益		
受取利息	2	12
受取配当金	411	459
その他	152	157
営業外収益合計	566	629
営業外費用		
支払利息	15	17
持分法による投資損失	6	20
減価償却費	62	58
その他	50	22
営業外費用合計	135	117
経常利益	11,979	13,700
特別利益		
固定資産売却益	0	1
投資有価証券売却益	42	0
特別利益合計	42	2
特別損失		
固定資産除売却損	238	190
その他	0	—
特別損失合計	238	190
税金等調整前四半期純利益	11,783	13,511
法人税、住民税及び事業税	1,889	4,368
法人税等調整額	1,494	△522
法人税等合計	3,384	3,846
四半期純利益	8,399	9,665
非支配株主に帰属する四半期純利益	78	121
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,320	9,544

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	8,399	9,665
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,133	4,515
繰延ヘッジ損益	△9	△15
為替換算調整勘定	△100	576
退職給付に係る調整額	21	△89
持分法適用会社に対する持分相当額	△6	—
その他の包括利益合計	5,039	4,987
四半期包括利益	13,438	14,653
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,356	14,436
非支配株主に係る四半期包括利益	82	217

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	11,783	13,511
減価償却費	3,593	4,815
のれん償却額	49	49
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	12	12
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	177	114
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	26	△78
賞与引当金の増減額(△は減少)	8	△10
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3	△5
受取利息及び受取配当金	△413	△472
支払利息	15	17
持分法による投資損益(△は益)	6	20
固定資産売却損益(△は益)	50	42
固定資産除却損	188	146
売上債権の増減額(△は増加)	△1,570	△3,328
棚卸資産の増減額(△は増加)	△2,664	△1,641
仕入債務の増減額(△は減少)	2,358	2,919
その他	△2,796	1,062
小計	10,828	17,174
利息及び配当金の受取額	448	469
利息の支払額	△15	△16
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△4,369	△516
契約解約金の支払額	△4,855	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,036	17,110
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△34
有形固定資産の取得による支出	△8,782	△10,713
有形固定資産の売却による収入	2	2
無形固定資産の取得による支出	△8	△5
投資有価証券の取得による支出	△2	△1
投資有価証券の売却による収入	78	0
関係会社株式の売却による収入	—	0
子会社の清算による収入	387	—
その他	△189	△110
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,514	△10,862
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△6	△58
自己株式の売却による収入	0	51
配当金の支払額	△3,623	△4,025
非支配株主への配当金の支払額	△97	△128
その他	△167	△181
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,895	△4,343
現金及び現金同等物に係る換算差額	△46	235
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△10,420	2,141
現金及び現金同等物の期首残高	43,427	31,568
現金及び現金同等物の四半期末残高	33,006	33,709

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用により、従来販売促進費等として販売費及び一般管理費に計上しておりました顧客に支払われる対価については売上高から控除する方法、及び従来有償支給時に消滅を認識しておりました支給品については買い戻す義務を負っているため、当該支給品の消滅を認識しない方法等に変更しております。

当該会計方針の変更により、収益認識会計基準等は遡及適用され、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。この結果、遡及適用を行う前と比べて、前連結会計年度の原材料及び貯蔵品は975百万円、流動負債のその他は1,305百万円それぞれ増加しております。また、前第2四半期連結累計期間の売上高は16,153百万円減少し、売上原価は438百万円増加し、販売費及び一般管理費は16,598百万円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ7百万円増加しております。なお、前連結会計年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより、利益剰余金の前連結会計年度の期首残高は226百万円減少しております。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(会計上の見積りを行う上での新型コロナウイルス感染症の影響)

当社グループは新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響について、前連結会計年度の有価証券報告書(追加情報)(会計上の見積りを行う上での新型コロナウイルス感染症の影響)に記載の仮定に重要な変更は行っておらず、当該仮定のもと固定資産の減損や繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

なお、当該仮定は不確実性が高く、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響が長期化等した場合には、将来の財政状態及び経営成績に重要な影響を与える可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報
前第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	食料品 製 造	食料卸売	不動産 及び サービス	計				
売上高								
外部顧客への売上高	81,634	2,157	869	84,611	275	84,937	—	84,937
セグメント間の内部売上高	45	86	0	132	466	598	△598	—
計	81,680	2,243	870	84,794	741	85,536	△598	84,937
セグメント利益	11,512	7	355	11,875	67	11,943	△394	11,548

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、研究用試薬の製造販売他であります。

2 セグメント利益の調整額△394百万円には、セグメント間取引消去7百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△416百万円などが含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び新規事業開発費等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	食料品 製 造	食料卸売	不動産 及び サービス	計				
売上高								
菓子食品	43,217	—	—	43,217	—	43,217	—	43,217
冷菓	25,589	—	—	25,589	—	25,589	—	25,589
健康	20,908	—	—	20,908	—	20,908	—	20,908
その他	—	2,438	356	2,795	315	3,111	—	3,111
顧客との契約から生じる 収益	89,715	2,438	356	92,511	315	92,827	—	92,827
その他の収益	—	—	595	595	—	595	—	595
外部顧客への売上高	89,715	2,438	952	93,106	315	93,422	—	93,422
セグメント間の内部売上高	68	121	0	189	455	645	△645	—
計	89,783	2,560	952	93,296	771	94,067	△645	93,422
セグメント利益	13,091	67	440	13,599	98	13,697	△508	13,188

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、研究用試薬の製造販売他であります。

2 セグメント利益の調整額△508百万円には、セグメント間取引消去8百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△518百万円などが含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び新規事業開発費等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

「注記事項（会計方針の変更）」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理の方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の利益又は損失の算定方法により作成したものを記載しております。

また、「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号 2020年3月31日）第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報は記載しておりません。

2022年3月期 第2四半期決算短信補足資料

※ 2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しており、2021年3月期以前の数値については、当該会計基準等に基づいた数値としております。

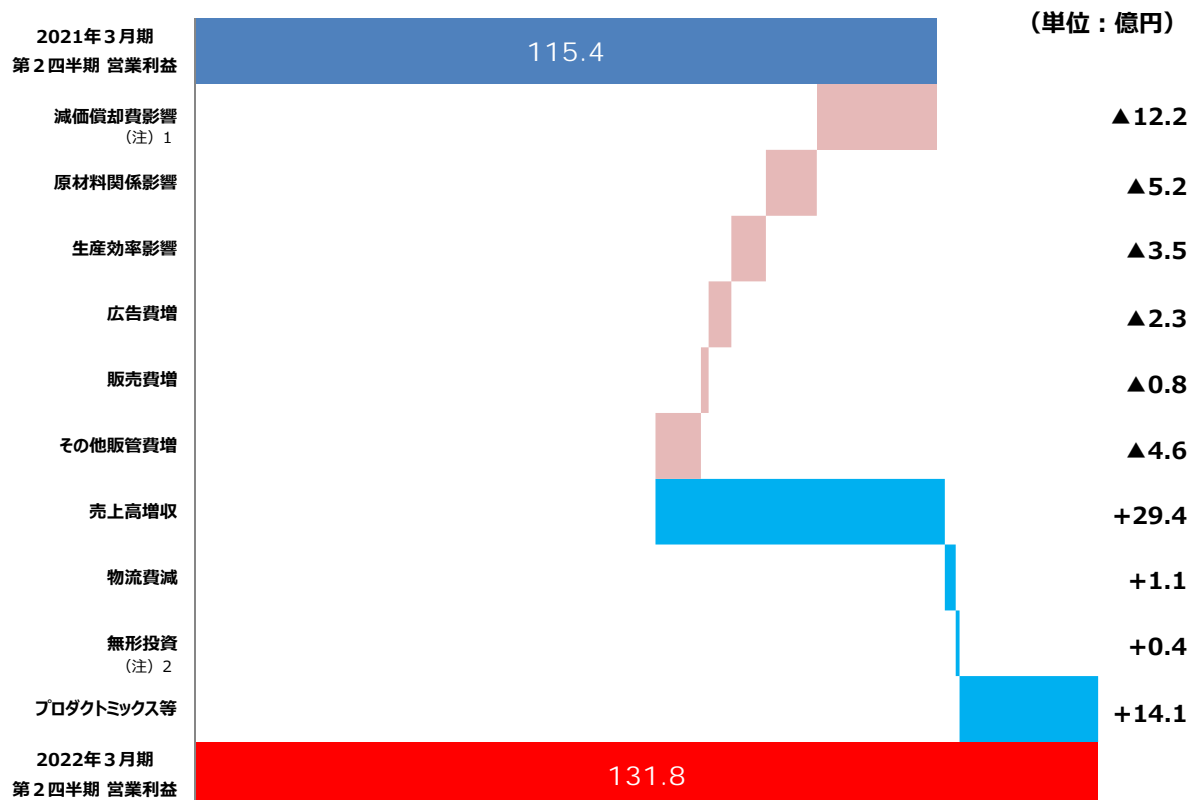
【当第2四半期連結累計期間】

① 業績

(単位:百万円)

	2021年3月期 第2四半期		2022年3月期 第2四半期		前期比較		
	金額	売上高比率(%)	金額	売上高比率(%)	金額	売上高比率(%)	増減率(%)
売上高	84,937		93,422		8,485		10.0
売上原価	47,069	55.4	52,403	56.1	5,334	0.7	11.3
販売費及び一般管理費	26,319	31.0	27,830	29.8	1,511	△ 1.2	5.7
販売促進費	2,090	2.5	2,328	2.5	238	0.0	11.4
広告宣伝費	3,591	4.2	3,820	4.1	229	△ 0.1	6.4
運賃保管料	7,653	9.0	8,297	8.9	644	△ 0.1	8.4
給料手当	4,212	5.0	4,406	4.7	194	△ 0.3	4.6
賞与引当金繰入額	1,430	1.7	1,382	1.5	▲ 48	△ 0.2	△ 3.3
その他	7,342	8.6	7,595	8.1	253	△ 0.5	3.5
営業利益	11,548	13.6	13,188	14.1	1,640	0.5	14.2
営業外収益	566	0.7	629	0.7	63	0.0	11.2
営業外費用	135	0.2	117	0.1	▲ 18	△ 0.1	△ 12.9
経常利益	11,979	14.1	13,700	14.7	1,721	0.6	14.4
特別利益	42	0.1	2	0.0	▲ 40	△ 0.1	△ 95.2
特別損失	238	0.3	190	0.2	▲ 48	△ 0.1	△ 20.4
税金等調整前四半期純利益	11,783	13.9	13,511	14.5	1,728	0.6	14.7
法人税等	3,384	4.0	3,846	4.1	462	0.1	13.6
四半期純利益	8,399	9.9	9,665	10.3	1,266	0.4	15.1
非支配株主に帰属する四半期純利益	78	0.1	121	0.1	43	0.0	55.0
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,320	9.8	9,544	10.2	1,224	0.4	14.7

② 営業利益増減分析



(注) 1 原価及び販管費計

2 R&D、DX関連等への投資金額

③ セグメント情報

(単位:百万円)

事業	2021年3月期 第2四半期	2022年3月期 第2四半期	増減額	増減率(%)
食料品製造				
売上高	81,634	89,715	8,081	9.9
(売上高構成比)	(96.1%)	(96.0%)		
セグメント利益	11,512	13,091	1,579	13.7
食料卸売				
売上高	2,157	2,438	281	13.1
(売上高構成比)	(2.6%)	(2.6%)		
セグメント利益	7	67	60	775.9
不動産及びサービス				
売上高	869	952	83	9.5
(売上高構成比)	(1.0%)	(1.0%)		
セグメント利益	355	440	85	23.7
その他				
売上高	275	315	40	14.6
(売上高構成比)	(0.3%)	(0.4%)		
セグメント利益	67	98	31	44.6

(注) 売上高は外部顧客への売上高を表示しております。

④ 食料品製造事業 売上高・営業利益

(単位:百万円)

	2021年3月期 第2四半期	2022年3月期 第2四半期	増減額	増減率(%)
連結売上高	84,937	93,422	8,485	10.0
営業利益	11,548	13,188	1,640	14.2
食料品製造 売上高	81,634	89,715	8,081	9.9
営業利益	11,512	13,091	1,579	13.7
菓子食品 売上高	40,561	43,217	2,656	6.5
営業利益	2,446	2,925	479	19.6
冷菓 売上高	24,495	25,589	1,094	4.5
営業利益	5,674	4,857	▲ 817	△ 14.4
健康 売上高	16,577	20,908	4,331	26.1
営業利益	3,390	5,307	1,917	56.6

(注) 売上高は外部顧客への売上高を表示しております。

国内売上高	76,303	82,000	5,697	7.5
海外売上高	5,331	7,714	2,383	44.7

海外売上高比率(対連結売上高)	6.3%	8.3%
-----------------	------	------

⑤ 2030経営計画における重点領域 売上高

(単位:百万円)

重点領域	2021年3月期 第2四半期	2022年3月期 第2四半期	増減額	増減率(%)
in事業	12,965	16,466	3,501	27.0
通販事業	3,614	4,306	692	19.1
米国事業	3,349	4,735	1,386	41.4
冷菓事業	24,279	25,280	1,001	4.1
合計	44,208	50,788	6,580	14.9

(注)1 売上高は外部顧客への売上高を表示しております。

2 当社グループは「2030経営計画」(2021年5月20日発表)における基本方針の1つとして事業ポートフォリオの転換を掲げ、成長性と収益性が見込める4つの事業を「重点領域」に選定しております。「重点領域」の各事業と従来の開示区分との関係性は下図のとおりです。

追加開示区分 従来の開示区分		食料品製造			食料卸売 不動産及びサービス その他
		菓子食品部門	冷菓部門	健康部門	
重点領域	in事業 ¹	● ²	—	●	—
	通販事業	—	—	●	—
	米国事業	●	—	—	—
	冷菓事業	—	●	—	—
基盤領域	菓子食品事業	●	—	—	—
	台湾事業	●	●	●	—
	国内事業子会社等	● ³	—	—	● ⁴
探索・研究領域 ⁵		●	●	●	—

● … 売上高が発生していることを示す(当第2四半期連結累計期間)

1 … inゼリー、inバーなど原則としてinブランドを冠した商品群で構成

2 … inタブレット、inショコラなど

3 … (株)アントステラ、森永市場開発(株)

4 … 森永商事(株)、(株)森永生科学研究所、森永高滝カントリー(株) ほか

5 … 中国、東南アジア、欧州、オセアニア ほか

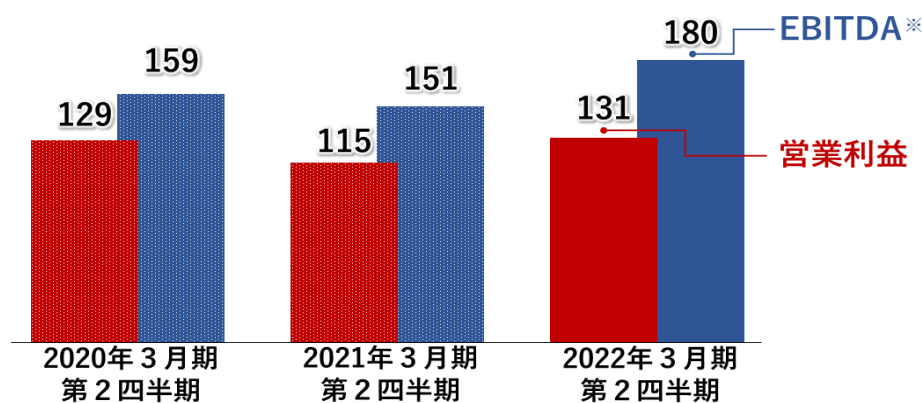
⑥ 設備投資、減価償却費、研究開発費

(単位:百万円)

	2021年3月期 第2四半期	2022年3月期 第2四半期	増減額
設備投資額	10,530	7,355	▲ 3,175
減価償却費	3,593	4,815	1,222
研究開発費	1,115	1,099	▲ 16

⑦ 営業利益及びEBITDA推移

(単位:億円)



*EBITDAは簡易版を使用—営業利益+減価償却費

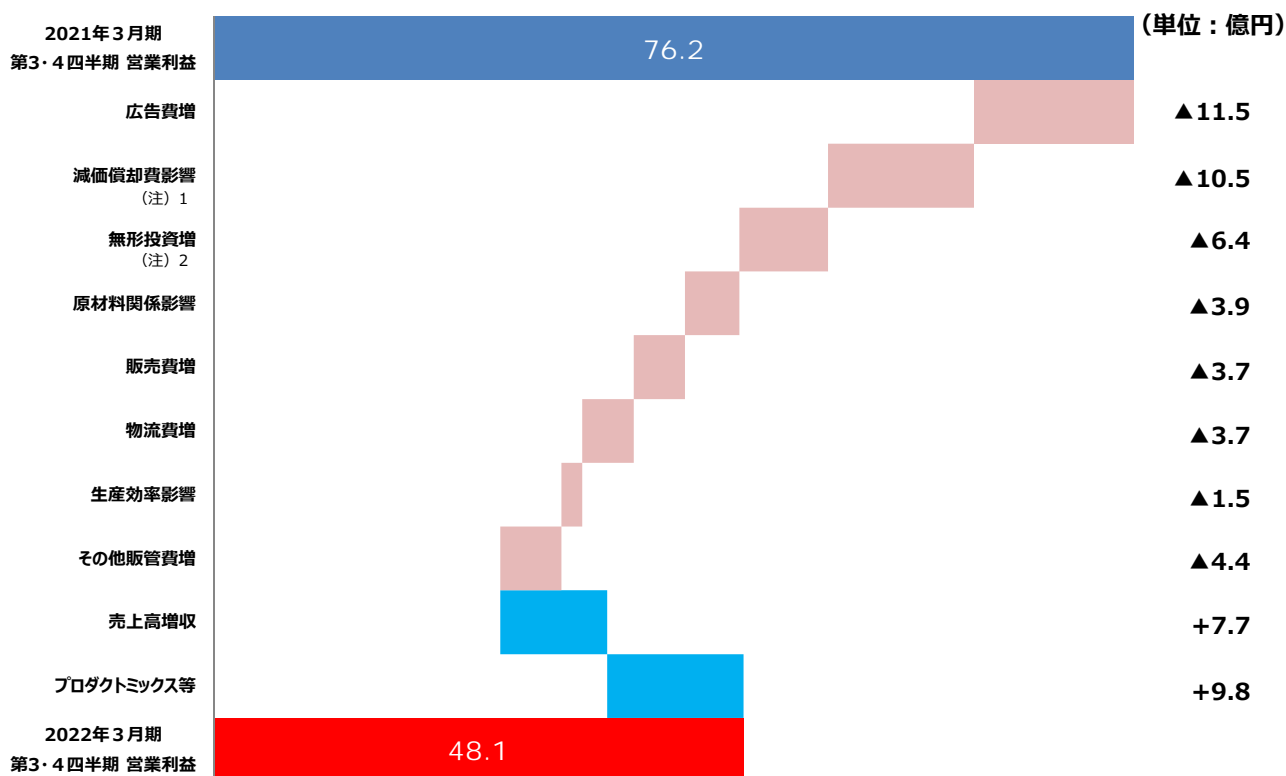
【下期予想】

① 業績

(単位:百万円)

	2021年3月期 第3・4四半期	2022年3月期 第3・4四半期 予想	増減額	増減率(%)
売上高	83,303	85,777	2,474	3.0
営業利益	7,628	4,811	▲ 2,817	△ 36.9
経常利益	7,802	4,799	▲ 3,003	△ 38.5
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,095	3,255	▲ 1,840	△ 36.1

② 営業利益増減分析



(注) 1 原価及び販管費計

2 R&D、DX関連等への投資金額

③ セグメント情報

(単位:百万円)

事業	2021年3月期 第3・4四半期	2022年3月期 第3・4四半期 予想	増減額	増減率(%)
食料品製造				
売上高	78,596	81,084	2,488	3.2
(売上高構成比)	(94.4%)	(94.5%)		
セグメント利益	7,297	4,515	▲ 2,782	△ 38.1
食料卸売				
売上高	3,391	3,461	70	2.1
(売上高構成比)	(4.1%)	(4.1%)		
セグメント利益	273	261	▲ 12	△ 4.4
不動産及びサービス				
売上高	955	947	▲ 8	△ 0.8
(売上高構成比)	(1.1%)	(1.1%)		
セグメント利益	435	512	77	17.9
その他				
売上高	359	284	▲ 75	△ 20.9
(売上高構成比)	(0.4%)	(0.3%)		
セグメント利益	122	73	▲ 49	△ 39.5

(注) 売上高は外部顧客への売上高を表示しております。

④ 食料品製造事業の国内、海外売上高

(単位:百万円)

	2021年3月期 第3・4四半期	2022年3月期 第3・4四半期 予想	増減額	増減率(%)
国内売上高	72,153	73,399	1,246	1.7
海外売上高	6,443	7,685	1,242	19.3

海外売上高比率(対連結売上高)	7.7%	9.0%
-----------------	------	------

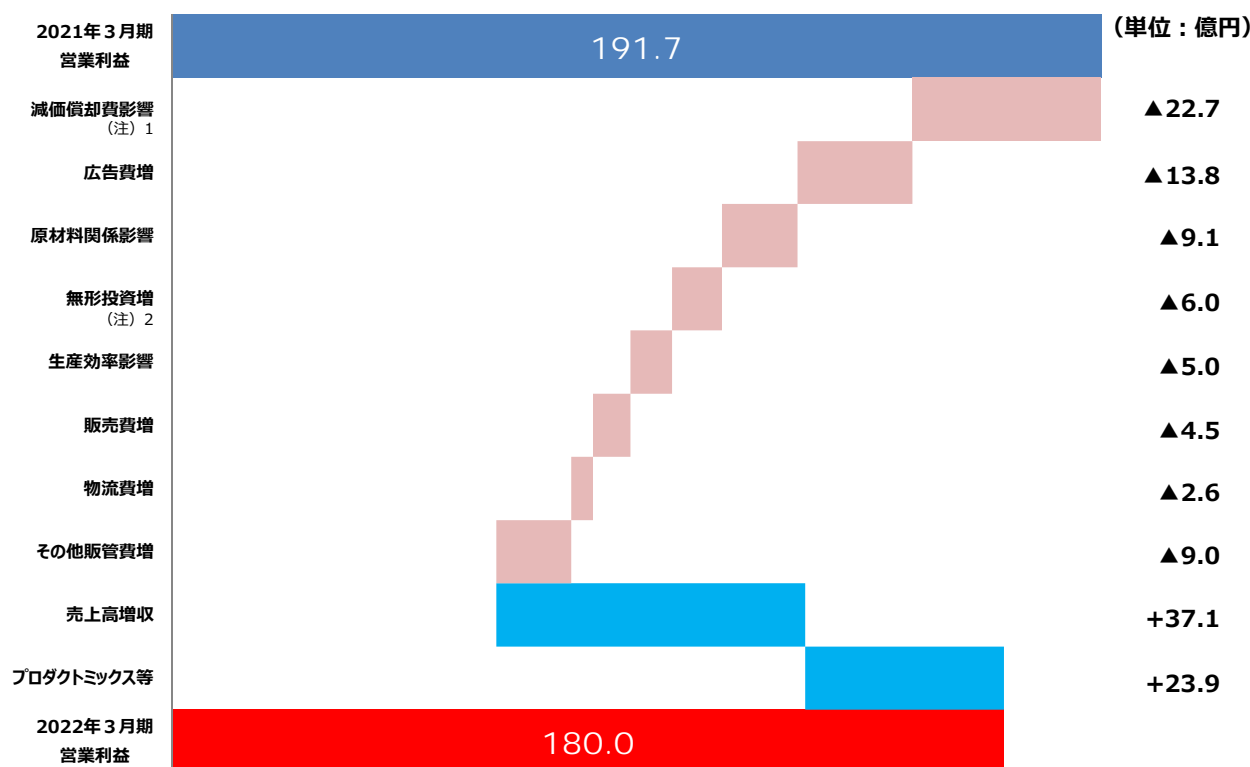
【通期予想】

① 業績

(単位:百万円)

	2021年3月期	2022年3月期 予想	増減額	増減率(%)
売上高	168,240	179,200	10,960	6.5
営業利益	19,176	18,000	▲ 1,176	△ 6.1
経常利益	19,782	18,500	▲ 1,282	△ 6.5
親会社株主に帰属する当期純利益	13,416	12,800	▲ 616	△ 4.6

② 営業利益増減分析



(注) 1 原価及び販管費計

2 R&D、DX関連等への投資金額